

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(地域創生・市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
(相双地方振興局)											
1	新規	教育・文化	相馬地域の創生に繋がるICT教育の推進による人財育成事業	相馬市	ソフト	26,736	10,000	これまで導入されていない市内の小・中学校に対し、タブレットPCの配置と併せてICT支援員の配置を進める。1校当たり37台程度導入し、普段の授業において積極的な活用を図るとともに、学習発表会や運動会などの学校行事、キャリア教育のための校外活動や外部講師招聘による講習会、総合的な学習の時間等、児童生徒の幅広い学習活動においてタブレットPCの活用と既存電子黒板と連動させた協働学習を推進する。	H30.4.1～ H31.3.31	相馬市	
2	継続2	教育・文化	ならはの復興を担うこども外国語教育支援事業	楡葉町	ソフト	10,577	7,918	町への帰還者数増加及び町の将来を担う人材育成のため、外国語教育支援を行う。 具体的には、年間を通じた外国人教師による英語教育をあおぞらこども園、小中学校を実施する。また、小中学校において、プリティッシュヒルズ(天栄村)への英語研修を実施する。そして、小中学校において、児童・生徒が受験する英語検定の費用に対して補助を行う。	H30.4.2～ H31.3.31	楡葉町	
3	継続2	交流・定住	富岡町帰還促進事業	富岡町	ソフト	4,589	3,441	「空き家・空き地バンク」を設置するとともに登録物件の申請・利用申込等を受付する。また、登録希望物件の調査及び登録者と利用希望者の媒介を宅建業者に依頼する。そして、町内不動産の隠れた瑕疵の有無を診断する住宅診断(インスペクション)を実施し、不動産売買の安全・安心を担保する。さらに、町が実施する住宅清掃費用の補助や害虫駆除の請負、修繕やリフォームに関する相談など、住宅の環境回復に関する相談・受付窓口を一本化。	H30.4.2～ H31.3.29	富岡町	
4	新規	交流・定住	富岡町地域コミュニティ活性化事業	富岡町	ソフト	1,620	1,215	復興中の町の様子や、町内に新設または再開した施設などを撮影して動画コンテンツを制作し公開する。また、帰還した町民、町内外で活躍している方へ「想いをつなぐインタビュー」を実施し、アプリ内コンテンツとの連携して発信する。	H30.4.2～ H31.3.31	富岡町	
5	継続3	交流・定住	川内村帰還等促進事業	川内村	ソフト	1,903	1,427	LINEスタンプの作成や、各地に住む村出身者等による応援組織による村の復興状況や情報発信に取り組む。また、村に足を運んでもらう機会を作るため、村の魅力を引出し、再発見するためフォトコンテストや、希望者を対象とした村体験ツアーを実施する。そして、帰還・移住者へのサポート・コミュニティ構築するため、帰村者や移住希望者に対し、住まいや仕事の相談等を受け付ける。	H30.4.1～ H31.3.26	川内村	
6	継続3	交流・定住	住宅支援による浪江町帰還促進事業	浪江町	ソフト	9,155	6,865	空き家・空き地バンクを町HPに掲載することで、町内の空き家・空き地を活用して、新たな住まいの確保が必要な町民等の住まいとして提供し、帰還者等の受入れ体制を整備する。また、住宅修繕相談窓口を設置し、住宅の修繕による帰還者等の住環境整備を図る。これらの取組により、町民の帰還等の増加を図り、町の居住人口の増加に繋げる。	H30.4.1～ H31.3.31	浪江町地内	
7	新規	教育・文化	葛尾村の開拓者たちの精神と復興を進める次世代のレジリエンス育成事業	葛尾村	ソフト	3,000	2,400	戦後開拓事業に関わった村民への聞き取りを行い、音声と映像でデータ収録するとともに、村の開拓事業に関わる追加調査の実施し、生存者も少なくなった戦後開拓者の経験を歴史的な裏付けと照らし合わせた「語り」として記録に残す。 また、事業で得られた資料やデータ、成果物については、復興交流館に展示活用を図るとともに、秋頃に開拓者数人と子どもたちを中心としたワークショップを開催するなど葛尾村の子どもたちに受け継ぐ取組を実施する。	H30.4.4～ H31.3.29	葛尾村	

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(地域創生・市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
8	継続 3	教育・文化	ICT活用教育による復興人材育成事業	新地町	ソフト	14,418	10,000	新地町内の各学校に対してICT機器の保守点検及び整備を行うことで、新地町の復興を担う人材の育成を目指す。新地町ICT活用教育の研究テーマである「学びの質を高め、21世紀を生き抜く力を育てる授業」を実施する。また、これにより日常的に“個々に応じた学び”、“主体的・協働的な学び”、“探究志向の学び”を実践して児童生徒の学習意欲並びに学力の向上を図る。	H30.4.1～ H31.3.31	新地町	
9	新規	観光振興	飯舘村 地域資源活用による広域観光・復興推進事業	飯舘村	ソフト	5,602	4,201	震災前まで地元団体及び福島県で開催していたダム祭りの復活が難しい中で、地元団体の獅子舞等の伝統芸能披露の場の提供やダム祭り開催のノウハウ継承、観光者の来訪に伴う関係人口の増加のきっかけとして開催し、地域資源を活用して復興を推進するとともに、将来的にダム祭りを復活させるための準備を兼ねてイベントを実施する。	H30.6.1～ H30.11.6	飯舘村 はやま湖 (真野ダム)	
累計						77,600	47,467				